

# 全国市長会の

# 動き

4月13日～5月8日

全国市長会ホームページ  
 ( <https://www.mayors.or.jp/> )  
 もご参照ください。



会議後、三団体共同ブルーフィングを行う牛越・大町市長（右）

## #1 「社会保障国民会議 実務者会議」に 牛越・大町市長が出席

4月15日、「社会保障国民会議 実務者会議」（議長・小野寺五典氏）が開催され、本会から財政委員長牛越・大町市長が出席し、「食料品の消費税率ゼロ」及び「給付付き税額控除」に関するヒアリングが行われた。

牛越・大町市長からは、食料品の消費税率ゼロに伴う地方財政への影響、給付付き税額控除の課題等について説明を行った。

〔財政部〕



## #2 「第4回社会保障国民会議 有識者会議」に 富田・可児市長が出席

4月21日、「第4回社会保障国民会議 有識者会議」（座長・清家篤氏）が開催され、「給付付き税額控除」等について議論を行った。本会からは、都市税制調査委員会委員長の富田・可児市長が出席し、都市自治体の立場から、現時点で実施主体が未定である中で、実施主体や役割分担を検討する上での論点、実施主体の事務負担軽減のためのデジタル活用等について説明を行った。

〔財政部〕

**#3** 昭和100年記念式典に副会長の  
吉田・本庄市長をはじめ87名が参列

4月29日、日本武道館において、昭和100年記念式典が挙行され、本会から、副会長の吉田・本庄市長をはじめ87名が参列した。

式典では、天皇皇后両陛下がご臨席され、国歌斉唱、高市・内閣総理大臣による式辞、森・衆議院議長、関口・参議院議長、今崎・最高裁判所長官によるあいさつの後、演奏が行われた。

〔総務部〕

**#4** 「こども政策に関する国と地方の協議  
の場(令和8年度第1回)」が開催され、  
都竹・飛驒市長が出席

4月30日、「こども政策に関する国と地方の協議の場(令和8年度第1回)」が開催され、社会文教委員会委員長の都竹・飛驒市長がオンラインで出席した。

都竹・飛驒市長からは、「こどもまんなか実行計画2026」の骨子案について、①人口減少を踏まえた地方の子育て環境整備への支援、②子育ての地域間格差の解消、③地

方自治体の負担軽減、④若者たちの実情を知り、声を聴く取組の推進等について発言した。

また、こどもまんなか社会に向けた地域における取組については、飛驒市の事例を紹介するとともに、全国の都市自治体がそれぞれの地域特性を活かし、創意工夫を凝らした取組を推進できるよう、国による支援を要望した。あわせて、今般導入された「こども・子育て支援金制度」について、制

度の趣旨等について、国民が納得感を持つよう、国において継続的かつ丁寧な説明を行うよう要望した。

〔社会文教部〕



社会文教委員会委員長の都竹・飛驒市長